

FIELD ～フィールド～

第10号
2020年1月発行

介護老人保健施設
アルカディア
ホームページQRコード→



今回のテーマはレスパイトケアです。

聞き慣れない言葉かもしれませんが、今回はレスパイトケアについてのお話をさせていただきます。レスパイトとは、英語で「一時中断」「小休止」「息抜き」などを意味します。

在宅介護の要介護状態の方が、福祉サービスなどを利用している間、介護をしているご家族などが一時的に介護から解放され、休息をとれるようにする支援のことです。

～ レスパイトケアの代表的なサービス ～

◇通所リハビリ

朝～夕方まで施設で1日を過ごす事が出来るサービスです。通所リハビリでは送迎・食事・レクリエーション・リハビリなどが受けられます。サービス利用時にご家族の時間が作れます。

「介護老人保健施設 アルカディア」では、充実の職員数でセラピスト（理学療法士10名 作業療法士3名 言語聴覚士3名）看護師、介護士が、ご利用者様お一人お一人に個別担当制をおこなっています。



◇ショートステイ（短期入所）

ショートステイは1泊～最長30日間の短期間宿泊していただく事が出来るサービスです。

たとえば家族旅行に行きたい場合や、出張や冠婚葬祭・生活リズムの改善や短期間のリハビリなど様々な場面で利用される方がいます。

当施設、ご利用期間中は、個別リハビリテーションのご提供もございますので是非ご利用ください。



◇入所

要介護認定を受けている方が対象となり、一定期間の宿泊していただく事が出来るサービスです。

当施設は、医師や専門スタッフの指導のもと、食事や入浴などの生活援助をはじめ、健康管理・リハビリテーション、レクリエーションなどのサービスを提供しています。

ご利用者様の自立と家庭復帰を目標に、一日でも早く、住み慣れたご家庭での生活に戻ることができるよう支援していきます。



誰かに話すことで「心」のケアになる。

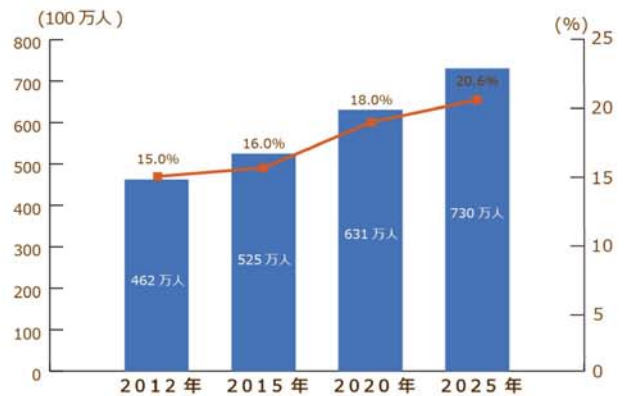


住み慣れた自宅で生活し続けたいという気持ちは、誰もが抱いている願いです。
ご利用者が在宅で生活する上で重要となってくるのが、ご家族の“介護力”です。“介護力”といっても、技術や知識だけではなく、自宅で生活してほしいという気持ちが重要となってきます。
サービスを受けながら在宅生活を継続し、また“介護力”を継続するためには、ご家族のリフレッシュがポイントになってきます。
ご利用者がサービスを受けている間に、外食や買い物をしたりと、些細なことが気分転換につながります。
また、ご家族やご友人などに相談する事も必要です。共感できる仲間を持ち、積極的に情報交換することも“介護力”を継続していく上で有効なことです。

認知症高齢者の方は2025年には700万人を超える推計が発表され、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患する計算となります。

そのような中、介護するご家族が倒れてしまわないよう、無理のない“家族介護”を行う上での「レスパイト・ケア」は、より重要なものになっていきます。

認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究



※ 各年齢の認知症有病率が上昇する場合の将来推計人数/ (率)
出所: 厚生労働省



居宅ケアマネジャーにも相談しつつ、地域の資源となる介護サービスを利用しながら、息抜きをすることの大切さを忘れずに介護を続けていきましょう。

当施設では、レスパイトケアに柔軟に対応出来ます。
介護の事でお困りの際は「介護老人保健施設 アルカディア」まで御相談下さい。

近隣地域向け広報誌“FIELD～フィールド～”をご覧頂き、誠に有難うございます。

◇次回は4月発行です。

次回も、皆様へお役立ち情報等をお伝えします。

◇アルカディアでは施設見学をお受けしております。ご興味のある方は下記までお問い合わせください。

◇ホームページでは施設内や行事などの紹介もしておりますので、QRコードよりご覧ください。

ホームページQRコード→



問合せ先：介護老人保健施設アルカディア

東京都武蔵村山市三ツ藤 1-98-1

メール： info@arcadia-kaigo.com

TEL 042-569-3900 (代)